

県営伊米ヶ崎中央地区 区画整理・農業用排水施設整備

(経営体育成基盤整備「一般型」) 事業計画書

第4回計画変更(軽微)

新潟県

3.	計画用水系統	23	2.	頭首工	34
4.	計画用水量	25	3.	揚水機	34
5.	水源計画	25	4.	用水路	34
第4節	排水計画	27	5.	その他かんがい施設	34
1.	計画基準雨量	27	第2節	排水施設	35
2.	計画排水方式	27	1.	排水水門	35
3.	計画排水系統	27	2.	排水機	35
4.	計画排水量	29	3.	排水路	35
5.	排水対策	29	4.	その他排水施設	35
6.	湛水検討	30	第3節	道路及び索道	36
第5節	道路計画	30	1.	道路	36
1.	道路及び索道	30	2.	索道	36
2.	路線配置図	30	第4節	農用地整備施設	37
第6節	農用地造成計画	32	1.	区画整理	37
第7節	洪水調整計画	32	2.	暗渠排水	37
第8節	干拓計画	32	3.	客土	38
第9節	農用地整備計画	32	4.	除礫	38
1.	区画整理	32	5.	農地保全	38
2.	暗渠排水	33	第6章	附帯工事計画	38
3.	客土	33	第7章	工事の着手及び完了の予定時期	38
4.	農地保全	33	第8章	環境との調和への配慮	39
第5章	主要工事計画	34	第1節	保全対象種の設定	39
第1節	用水施設	34	第2節	整備する環境条件と実施するエリア	39
1.	貯水池	34	第3節	配慮の計画内容	39

第9章	換地計画の概要	40
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	40
第2節	換地区の設定	40
1.	換地区の名称、所在、面積	40
2.	換地区を設定する理由	40
第3節	換地計画樹立の基本方針	40
1.	従前の土地の地積の基準	40
2.	用途別予定地積	41
3.	農用地集団化の方針	42
4.	非農用地の換地方法	42
第4節	土地の評価及び清算の方法	43
1.	評価の方法	43
2.	清算の方法	43
第5節	換地計画樹立の年度計画	43
第6節	換地処分の特則	43
第10章	事業費の総額及び内訳	44
第11章	効用	45
第12章	関連する事業	46
第13章	現況・計画平面図	46
	計画一般図	

第 1 章 目 的

本地区は新潟県魚沼市の南部に位置し、4集落の耕地によって成り立っている。地区中央には南北に国道17号が走り、西側には一級河川魚野川、南側は一級河川三用川、北側に板木川が流れている。

用水は、主に一級河川三用川、橋場川を水源とし、排水は、一級河川魚野川、板木川へ排水される。

地形は、南より北へ傾斜し、平均地形勾配 1/150 (1/15 ~ 1/3, 300) で標高は125~95mである。

本地区の耕地は、昭和28 ~ 38年の積寒区画整理事業地区により5~7a区画に整備されたが、農道幅員は2m以下と狭く大型機械に対応できない状況である。用排水路は用排兼用の土水路が多く、法面の崩落、水管理などの維持管理に多大な労力、経費を要している。また、本地区の農業の現状は認定農業者11人を中心として営まれているが、農業従事者の高齢化及び後継者不足などから、地域の核となる「担い手」の確保が年々難しくなっている。

こうした状況を解決するため、区画整理を実施し、大規模農家を確保、今後の集落農業の維持・発展のため中核的な認定農業者を育成する。また、農業用排水施設整備により用水の安定化を図ると共に、水稻及びスイカ、さといもを核とした効率的かつ安定的な農業経営の確立を目標とする。

第 2 章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
区 画 整 理	魚沼市大浦・伊勢島・虫野・原虫野
農業用排水施設整備	魚沼市大浦

第2節 地 積

(令和6年7月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
区画整理	魚沼市	50.4	0.5	-	0.1	6.4	57.4	
	計	50.4	0.5	-	0.1	6.4	57.4	
農業用排水 施設整備	魚沼市	3.7	-	-	-	-	3.7	区画整理の内数
	計	3.7	-	-	-	-	3.7	
合 計		50.4	0.5	-	0.1	6.4	57.4	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象 (位置 北緯 37° 14. 2′ 東経 138° 57. 9′ 標高 98m)

(第3表-1)

観測所名	小出観測所	かんがい期	5月～8月	非かんがい期	9月～4月	計 又は平均	12.1℃	備 考	気象庁ホームページより
観測期間	1979年～2018年	5月～8月	5月～8月	9月～4月	9月～4月	又は平均	12.1℃		
平均気温(℃)		21.6℃	21.6℃	7.3℃	7.3℃	12.1℃	12.1℃		気象庁ホームページより
降水量	平均(mm)	718.0mm	718.0mm	1,856.0mm	1,856.0mm	2,574.0mm	2,574.0mm		〃
	基準年(mm)	—mm	—mm	—mm	—mm	—mm	—mm		
降水日数	平均(日)	52日	52日	153日	153日	205日	205日		気象庁ホームページより
	基準年(日)	—日	—日	—日	—日	—日	—日		
根雪期間		12月20日～4月15日			117日				
無霜期間		4月10日～11月20日			219日				
最多風向		西	最大風速 (風向)		12.0 m/s (西)		最多風向発生時期:2,5～9,11月 最大風速発生年月日:1998年9月22日		

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 小出観測所	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備 考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
観測期間 1953年～2018年																
最大日雨量(mm)	234.0	2005.6.28	1/100	189.0	1978.6.27	1/40	188.0	1984.8.30	1/40	178.5	2011.7.28	1/30	176.0	2017.7.18	1/25	気象庁
最大時雨量(mm)	60.5	2013.6.8	—	60.5	2011.7.28	—	58.0	1998.7.29	—	55.0	1978.8.7	—	52.5	2017.7.18	—	〃
最大4時間雨量(mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大連続降水量(mm)	807.0	1968	1/50	741.8	1956	1/40	724.0	1981	1/40	567.0	2005	1/10	550.0	1983	1/10	水文統計資料 1953～2012
最大連続干天日数(日)	105	1971	1/500以上	98	1972	1/500以上	92	1973	1/500以上	90	1974	1/500以上	90	1975	1/500以上	〃

3. 海象 該当なし

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(1) 地形 本地区の地形は、標高125mを最高に最95mとなっており、地形勾配は南から北へ平均1/150の勾配となっている。 (第4表-1-1)

事業名	地目 傾斜区分	田						畑・その他							受益地標高(m)		備考	
		1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 ～ 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8°～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高		最低
										8° ～ 10°	10° ～ 15°	8° ～ 15°						
区画整理	面積 (ha)	3.5	37.5	8.9	0.5	-	50.4	0.5	-	-	-	-	-	-	0.5	125	95	
	比率 (%)	6.9	74.4	17.7	1.0	-	100	100	-	-	-	-	-	-	100			
農業用排水 施設整備	面積 (ha)	-	0.7	3.0	-	-	3.7	-	-	-	-	-	-	-	-	115	104	
	比率 (%)	-	18.9	81.1	-	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-			
合計	面積 (ha)	3.5	37.5	8.9	0.5	-	50.4	0.5	-	-	-	-	-	-	0.5	125	95	
	比率 (%)	6.9	74.4	17.7	1.0	-	100	100	-	-	-	-	-	-	100			

(2) 土壌 本地区の地質は、洪積層土層である。土壌は、下表の通りである。 (第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土壌統(区)区分一覧表										面積(ha)			備考	
	土壌断面									堆積様式	母材	事業名			
	色	腐植	礫層	酸化沈澱物	土性				泥炭層 黒泥層 及び グライ層			区画整理	排農 整水業 備施用 設用		計
					表土 一層	下層土									
					二層	三層	四層								
D30 強グライ土壌-強粘土還元型	灰	1層あり 2,3層無し	無	無し	LiC	LiC	LiC ～CL	-	グライ層全層	沖積	第四期沖積土壌	24.6	3.7	24.6	
D34 強グライ土壌-壤土還元型	灰	1層あり 2,3層無し	無	無し	CL～L	L～SL	SL～S	-	グライ層全層 泥炭層有	沖積	第四期沖積土壌	26.3		26.3	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.9	3.7	50.9	

※農業用排水施設整備面積は区画整理の内数

(3) 浸食の程度 該当なし

2. 土地分類 該当なし

3. 土地利用の状況

(令和6年7月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草放牧 地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
区画整理	魚沼市	50.4	0.5	—	—	—	—	—	—	—	0.1	6.4	57.4	
農業用排水施設整備	魚沼市	3.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7	区画整理の内数
計		50.4	0.5	—	—	—	—	—	—	—	0.1	6.4	57.4	

4. 土地所有の状況

(令和6年7月現在) (第4表-4)

事業名	所有別 区 分	個 人 有			その他	土地改良区 有	市町村有	県 有	国 有	計	備 考
		面積 (ha)	受益者数 (人)	筆 数 (筆)							
農業用排水施設整備 区画整理	面積 (ha)	20.8	4.4	25.7	0.1	0.1	6.3	—	—	57.4	
	受益者数 (人)	95	13	31	—	—	—	—	—	13	重複あり
	筆 数 (筆)	460	87	479	11	35	297	—	—	1369	
	権 利 関 係	所有権 (自作)	使用 賃借権	賃借権	—	—	—	—	—		
	備 考	—	—	—	—	—	—	—	—		

第3節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水系統(現況用水系統図参照)

本地区の用水は、一級河川三用川、松ヶ沢川、橋場川からの取水の他、渓流水によりかんがいを行っている。

(第5表-1)

事業名	水系及び水源名	名称	面積	単位用水量	全用水量	備考
区画整理	三用川	—	22.4 ha (31.2 ha)	0.00404 m ³ /s/ha	0.090 (0.126) m ³ /s	
				0.00298 m ³ /s/ha	0.067 (0.093) m ³ /s	
	松ヶ沢川	—	4.5 ha (4.9 ha)	0.00415 m ³ /s/ha	0.019 (0.021) m ³ /s	
				0.00319 m ³ /s/ha	0.014 (0.015) m ³ /s	
橋場川	—	17.3 ha (17.9 ha)	0.00396 m ³ /s/ha	0.069 (0.071) m ³ /s		
			0.00286 m ³ /s/ha	0.050 (0.052) m ³ /s		
渓流水	—	6.2 ha (7.0 ha)	0.00415 m ³ /s/ha	0.025 (0.028) m ³ /s		
			0.00319 m ³ /s/ha	0.020 (0.023) m ³ /s		
合計			50.4 ha (61.0 ha)		0.203 (0.246) m ³ /s 0.151 (0.183) m ³ /s	

※ ()内は地区外を含む。水量は、上段:代播期、下段:普通期

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ 取水量	備考
		500ha以上		500ha~100ha		100ha未満		箇所	ha	箇所	m3/s	箇所	m3/s	m3/s	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
区 画 整 理	貯水池	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	井 堰	-	-	-	-	4	44.2	4	44.2	-	-	4	0.182 0.134	0.182 0.134	
	自然取入口	-	-	-	-	3	6.2	3	6.2	-	-	3	0.025 0.020	0.025 0.020	
	揚 水 機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合 計		-	-	-	-	7	50.4	7	50.4			7	0.207 0.154	0.207 0.154	

※ 水利権は、上段:代掻期, 下段:普通期

(イ) 改修を必要とする施設一覧表

(第5表-3)

事業名	項目	施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備 考
	施設名							
区画整理	貯水池	-	-	-	-	-		
	井 堰	-	-	-	-	-		
	自然取入口	-	-	-	-	-		
	揚 水 機	-	-	-	-	-		
	用 水 路	166	50.4	土水路、フリューム	幅0.3~0.6m	S28~S38	老朽化、漏水	
	その他	-	-	-	-	-		
農業用排水施設整備	貯水池	-	-	-	-	-		
	井 堰	-	-	-	-	-		
	自然取入口	-	-	-	-	-		
	揚 水 機	-	-	-	-	-		
	用 水 路	-	-	-	-	-		
	その他	1	3.7	深井戸	φ 40	R2~R7	用水不足対策	
合 計		-	50.4	-	-	-		

(3) 用水に関する被害状況 該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況 該当なし

2. 排水状況

(1) 排水系統 (現況排水系統図参照)

本地区の排水は、小排水路より一級河川 板木川及び一級河川 魚野川へ自然排水されている。

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		かんがい面積						計		排水慣行 (m3/s)	現況排水能力 (m3/s)	備考
			500ha以上		500ha～100ha		100ha未満		箇所	ha			
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
区画整理	自然	排水路	-	-	-	-	5	205.9	5	205.9	-	6.486	
		水門	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		水門及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		排水路及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計			-	-	-	-	5	205.9	5	205.9	-	-	

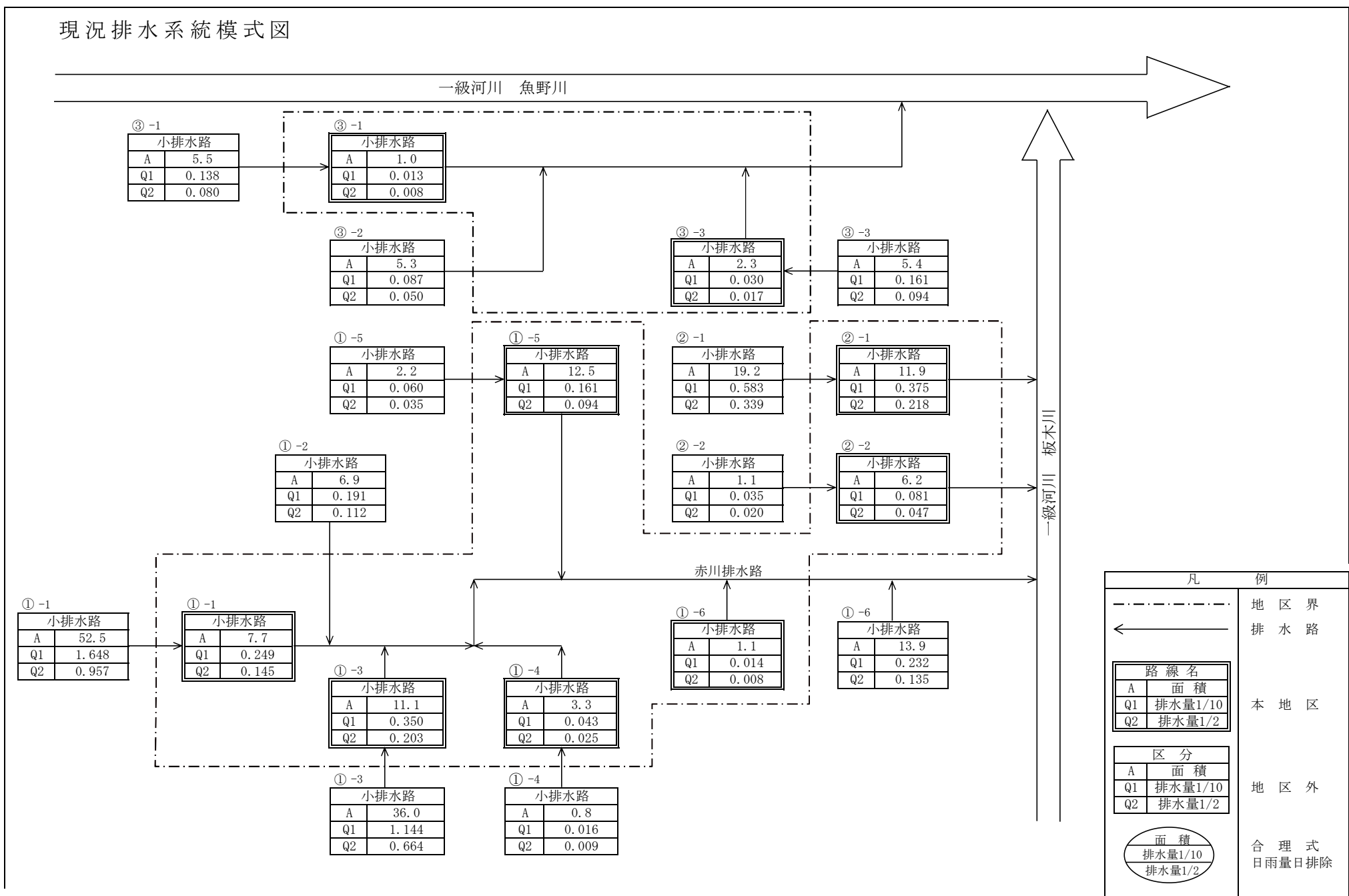
(イ) 改修を要する施設の一覧表

事業名	項目 施設名		施設名 又は箇所数	受益 面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
水門	-	-	-	-	-	-			
機械	排水機	-	-	-	-	-	-		
	水門及び排水機	-	-	-	-	-	-		
	排水路及び排水機	-	-	-	-	-	-		
合計			166	50.9	-	-	-		

(2) 排水施設

該当なし

現況排水系統模式図



3. 河川状況 該当なし

第4節 道路現況

1. 道路概況(現況道路配置図参照)

本地区は「国道17号」に接しており、市中心部や小出インターチェンジから3km程度と交通の利便性が良い農業地域である。しかしながら、農業生産に欠かせない地区内農道は、幅員が2～2.5m程度と狭いため農作業機械のすれ違いが出来ない状況であり、営農に支障をきたしている。

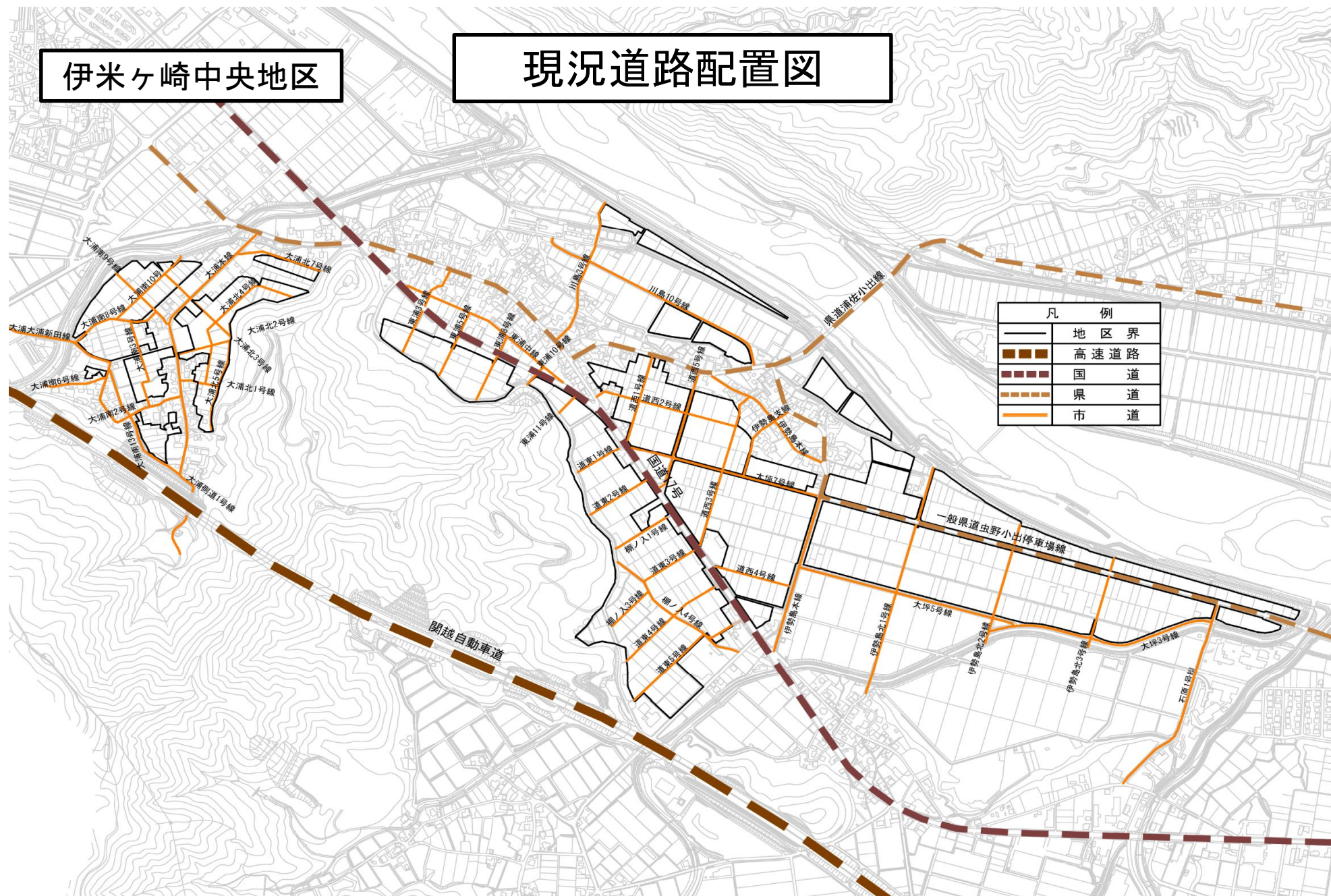
2. 主要道路一覧表

(第6表)

事業名	路線名	管理区分別	延長 (km)	幅員 (m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			
区画整理	農道	魚沼市	4.6	2.0～2.5	—	砂利	改修及び廃止	
	農道	魚沼市	1.3	2.0～2.5	—	砂利	既設利用	
	合計		5.9					

伊米ヶ崎中央地区

現況道路配置図



凡 例	
—	地区界
— — —	高速道路
- - -	国道
- - -	県道
—	市道

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(平成27年10月 国勢調査) (第7表-1)

項目 市町村名	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス 熱供給水道業	運輸 通信業	卸売 小売業 飲食店	金融 保険業	不動 産業	サービ ス業	公 務	その他	備考
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
魚沼市	19,187	1,724	49	30	17	2,530	3,852	104	723	2,464	218	130	6,399	658	289	
比率 (%)	100	9.0	0.3	0.2	0.1	13.2	20.1	0.5	3.8	12.9	1.2	0.7	33.4	3.5	1.5	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業農家数

(平成27年2月 農林業センサス) (第7表-2)

項目 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経営耕地 耕 広 狭 別 農 家 数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積(ha)					耕地の分散状況		専兼業別農家数(戸)		備考										
		例外規 定の適 用を受 けるも の	0.3 ～ 0.5		0.5 ～ 1.0		1.0 ～ 1.5		1.5 ～ 2.0		2.0 ～ 3.0		3.0 ～ 5.0		5.0 ～ 10.0		10.0 ～ 20.0		20.0 ha 以上		田		畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	一戸 当 た り 団 地 数	団地 当 た り 面 積 (ha)	専 業	兼業	
			第一種	第二種																												
魚沼市	3,089	1	462	798	315	160	130	108	60	12	1	1,042	1.16	0.17	0.00	1.33	0.01	1.34	-	-	378	130	1,539									
比率 (%)	100	0.0	15.0	25.8	10.2	5.2	4.2	3.5	1.9	0.4	0.0	33.7	86.5	12.7	0.0	99.2	0.8	100	-	-	18.5	6.4	75.2									

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(平成27年2月 農林業センサス) (第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜							
	耕うん機		トラクター		田植機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		鶏	
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)
魚沼市	-	-	1,831	1,630	1,221	1,209	1,150	1,123	412	13	X	8	X	1	X	1
100戸当たり数量 (台・頭)	-		89.4		59.6		56.2		20.1		0.0		0.0		0.0	
利用戸数割合 (%)	-		79.6		59.1		54.9		0.6		0.4		0.0		0.0	

4. 主要作物作付状況

(H29～30年 北陸農林水産統計年報)

(第7表-4)

市町村名		魚沼市				計	作付率	備考
総耕地面積 (ha)		3,780				3,780		
総本地面積 (ha)		3,540				3,540		
作物名	区分		作付面積 (ha)	単位面 積 当 たり 収 量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面 積 当 たり 収 量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	(%)
	田	表作	水稻	2,490	510			2,490
裏作		—						
小計		2,490				2,490	96	
畑	春夏作	大豆	7	162			7	1
		そば	89	22			89	3
		小計		96				96
	計							
樹園地								
	小計		0				0	0
計			2,586				2,586	100
市町村別延べ作付率(%)		100				100		

5. 農業の動向

(平成17～27年 農林業センサス)

(第7表-5)

項目 区分	農 業			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機 具名	B	A		
変化の状況 (C年を100と する指数)	総農家数	89	74	総耕地	95	86	水稻	106	89	乳用牛	73	63	自動耕う ん機	-	-	農業振興地域 (指定) S46.3.2 (認可) S47.3.22 C:平成17年 (2005年)	A:平成27年 (2015年) B:平成22年 (2010年) C:平成17年 (2005年)
	専業 農家数	110	92	田	94	86	イモ類	50	200	肉用牛	-	-	トラク ター	81	68		
	第1種兼業 農家数	86	43	畑	104	85	豆 類	67	133	豚	-	-	コンバイ ン	74	60		
	第2種兼業 農家数	81	67	樹園地	167	33	野菜類	111	136	鶏	-	-	田植機	74	59		
	農業従事 者数	84	60														
変化の理由	農業情勢の変化			農業情勢の変化			農業政策の変化 食生活の変化			食生活の変化			農業経営形態の変化 機械の大型化				

第6節 地域環境の概況

1. 植物・動物等生態系の概況

平成30年6月21日に行われた「生き物調査」において、計画区域で確認された生き物は下記のとおり。

- 魚 類 : ドジョウ
- 両 生 類 : アマガエル
- 甲 殻 類 : ホウネンエビ
- 昆 虫 : アキアカネ

2. その他、地域環境の概況

本地域は、魚沼市農村環境計画において『定住環境創造エリア』に位置づけられており①農業生産団地ゾーン、②滞在型交流農業ゾーンの設定となっている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

本地区農地の現況区画は昭和28～38年の積寒区画整理事業地区により5～7aに整備されたが、道路は幅2m程と狭く、大型機械に対応できない状況である。用排水路は用排兼用の土水路が多く、法面の崩落、水管理などの維持管理に多大な労力、経費を要している。

こうした状況を解決するため、区画整理を実施し、大規模農家を確保、今後の集落農業の維持・発展のため中核的な認定農業者を育成する。また、農業用排水施設整備により用水の安定化を図ると共に、水稻及びスイカ、さといもを核とした効率的かつ安定的な農業経営の確立を目標とする。

2. 事業別面積

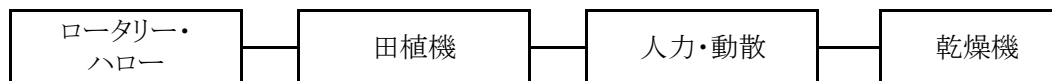
(第8表)

事業名 土地 利用区分 事業目的	区画整理						農業用排水施設整備						計 (ha)	備考
	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)		
ほ場整備	50.3	-	-	-	-	50.3	-	-	-	-	-	-	50.3	
用水整備	-	-	-	-	-	-	3.7	-	-	-	-	3.7	3.7	区画整理の内数
計	50.3	-	-	-	-	50.3	3.7	-	-	-	-	3.7	50.3	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

- a) 経営方式 水稲転作複合 水稲＋飼料用米＋さといも＋すいか＋その他作目（畑利用）
- b) 経営組織 農地の集団化を図り、大型機械の共同利用を進めると共に、土地利用権の集積に努め、農業経営の安定を図る。
- c) 作業体系(水稲) 耕起整地 → 植付 → 除草防除 → 収穫調製



2. 土地計画利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	耕作放棄地	小計	道水路	山林原野	その他	計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	現況	50.4	0.5	-	-	-	50.9	6.4	0.1	-	57.4	
	計画	50.3	-	-	-	-	50.3	6.3	-	0.8	57.4	
農業用排水施設整備	現況	3.7	-	-	-	-	3.7	-	-	-	3.7	区画整理の内数
	計画	3.7	-	-	-	-	3.7	-	-	-	3.7	〃
計	現況	50.4	0.5	-	-	-	50.9	6.4	0.1	-	57.4	
	計画	50.3	-	-	-	-	50.3	6.3	-	0.8	57.4	

4. 生産計画

・区画整理

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり 収穫量(kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の 内訳 (t)		備考	
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当 たり収量増 加		
			区画 整理 事業	水田	水稻	45.9	32.4	△ 13.5	90.7	66.0	523	540	17	240.1	175.0		△ 65.1
保全管理	1.2	-			△ 1.2	2.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
飼料用米	0.5	6.8			6.3	1.0	13.8	578	625	47	2.9	42.5	39.6	39.3	0.3		
その他作物 (えだまめ)	2.0	2.4			0.4	4.0	4.9	287	287	-	5.7	6.9	1.2	1.2	-		
さといも	0.1	2.4			2.3	0.2	4.9	964	964	-	1.0	23.1	22.1	22.1	-		
すいか	-	4.8			4.8	-	9.8	3,509	3,509	-	-	168.4	168.4	168.4	-		
花ハス	0.3	0.3			-	0.6	0.6	746	746	-	2.2	2.2	-	-	-		
普通畑	その他作物 (えだまめ)	0.6		-	△ 0.6	1.2	-	287	287	-	1.7	-	△ 1.7	△ 1.7	-		
計		50.6		49.1	△ 1.5	100.0	100.0					253.6	418.1	164.5	158.7	5.8	
合計		50.6	49.1	△ 1.5	100.0	100.0					253.6	418.1	164.5	158.7	5.8		

・農業用排水施設整備

(第9表-3)

事業名	項目 土地 利用 区分	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり 収穫量(kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の 内訳 (t)		備考	
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増 減	単位面積当 たり収量増 加		
			農業 用 備 排 水 施 設 整 備	水田	水稻	3.3	3.3	-	91.7	91.7	523	523	-	17.3	17.3		-
その他作物 (えだまめ)	0.2	0.2			-	5.6	5.6	287	287	-	0.6	0.6	-	-	-		
保全管理	0.1	0.1			-	2.8	2.8	-	-	-	-	-	-	-	-		
計	3.6	3.6		-	100.0	100.0					17.9	17.9	-	-	-		
合計			3.6	3.6	-	100.0	100.0					17.9	17.9	-	-	-	

5. 労働改善計画

・区画整理

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たりの労働投下量 (hr/10a)				備 考	
				区 分	現 況	計 画	増 減		
区 画 整 理	水田	水稻・ 飼料用米	5.7	人 力	51.4	16.0	△ 35.4	現況：湿田 10a区画	
				機 械 力	28.1	10.9	△ 17.2	計画：乾田 50a区画	
		水稻・ 飼料用米	33.5	人 力	51.4	16.5	△ 34.9	現況：湿田 10a区画	
				機 械 力	28.1	11.2	△ 16.9	計画：乾田 30a区画	
		その他作物 (えだまめ)	2.4	人 力	55.9	16.3	△ 39.6	現況：湿田 10a区画	
				機 械 力	19.8	11.0	△ 8.8	計画：乾田 30a区画	
		さといも	2.4	人 力	135.3	26.4	△ 108.9	現況：湿田 10a区画	
				機 械 力	21.0	14.6	△ 6.4	計画：乾田 30a区画	
		計			44.0				

・農業用排水施設整備

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たりの労働投下量 (hr/10a)				備 考
				区 分	現 況	計 画	増 減	
水 農 施 業 設 用 整 備 排	水田	水稻	3.3	人 力	51.4	51.4	-	現況＝計画
				機 械 力	28.1	28.1	-	
		その他作物 (えだまめ)	0.2	人 力	55.9	55.9	-	現況＝計画
				機 械 力	19.8	19.8	-	
		計			3.5			

・用地整備

該当なし

6. 級地別土地利用区分 該当なし

7. 土地配分計画 該当なし

第3節 用水計画

1. 計画基準年 該当なし

2. 計画かんがい方式

水 稲 : 管水路方式、開水路方式

3. 計画用水系統 (計画用水系統図参照)

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

系統名	項目	種別	面積(ha)		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m ³ /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考
			事業名		普通期	代かき期	面積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均間 断日数	面積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均間 断日数	面積 (ha)	計画平 均単位 用水量	面積 (ha)			平均 (m ³ /s)	最大 (m ³ /s)	
			区画 整理 事業	計	計画平 均単位 用水量	計画代 かき単位 用水量		一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均間 断日数		一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均間 断日数		計画平 均単位 用水量						
					(mm/日)	(mm/日)	(mm/日)	(日)	(mm/日)	(日)	(mm/日)	(日)	(mm/日)							
	三用川	農業 用水	10.0	10.0	24	150	10.0	-	-	-	-	-	-	-	0.028	10	0.031	0.040		
	松ヶ沢川	農業 用水	3.4	3.4	24	150	3.4	-	-	-	-	-	-	-	0.010	10	0.011	0.014		
	三用川・橋場川	農業 用水	28.3	28.3	24.8	150	28.3	-	-	-	-	-	-	-	0.084	10	0.093	0.116		
	橋場川	農業 用水	2.1	2.1	24	150	2.1	-	-	-	-	-	-	-	0.006	15	0.007	0.009		
	渓流水	農業 用水	6.5	6.5	24	150	6.5	-	-	-	-	-	-	-	0.018	10	0.020	0.026		
	計		50.3	50.3			50.3								0.146		0.162	0.205		

(第10表-1-2)

系統名	項目	種別	面積(ha)		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m ³ /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考
			事業名		普通期	代かき期	面積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均間 断日数	面積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均間 断日数	面積 (ha)	計画平 均単位 用水量	面積 (ha)			平均 (m ³ /s)	最大 (m ³ /s)	
			農業用 用排水 施設整 備	計	計画平 均単位 用水量	計画代 かき単位 用水量		一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均間 断日数		一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均間 断日数		計画平 均単位 用水量						
					(mm/日)	(mm/日)	(mm/日)	(日)	(mm/日)	(日)	(mm/日)	(日)	(mm/日)							
	井戸ポンプ	農業 用水	3.7	3.7	24	150	3.7	-	-	-	-	-	-	-	0.014	10	0.011	0.015		
	計		3.7	3.7			3.7								0.014		0.011	0.015		

(2) 営農飲雑用水 該当なし

5. 水源計画

(1) 水利用計画 該当なし

(2) 用水対策

(ア) 貯水池 該当なし

(イ) 井堰及び自然取入口 該当なし

(ウ) 揚水機

(第10表-4-1)

項目 名称	水源名	かんがい面積(ha)		所要水量(m ³ /s)		揚水機			備考	
		事業名		代掻き期	普通期最大	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)		全揚水量 (m ³ /s)
		区画整理								
第1号ポンプ	渓流水	1.6		—	0.001	11.33	0.001	1	0.001	補給ポンプ
第2号ポンプ	三用川・橋場川	29.2		0.227	0.093	13.36	0.114	2	0.227	加圧ポンプ

(第10表-4-2)

項目 名称	水源名	かんがい面積(ha)		所要水量(m ³ /s)		揚水機			備考	
		事業名		代掻き期	普通期最大	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)		全揚水量 (m ³ /s)
		農業用排水施設整備								
井戸ポンプ	地下水	3.7		—	0.002	44.00	0.002	1	0.002	補給ポンプ

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積(ha)		最大通水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	備考
	事業名					
	区画整理	計				
小用水路(管水路)	48.2	48.2	0.116	7.3	塩ビ管	
小用水路(開水路)	2.1	2.1	0.005	0.8	ベンチフリューム	
計	50.3	50.3		8.1		

(オ) その他の水源施設 該当なし

(3) 水温水質 該当なし

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

○基準雨量 最大日雨量 138.8 mm(1/10確率) 観測所名：小出観測所 1953年～2012年
 最大日雨量 80.7 mm (1/2確率) ”

2. 計画排水方式

a) 単位排水量の決定

区 分	算定方式	基準雨量	流出量	(1/年確率)別	雨量強度	算 出 基 準	単位排出量
小排水路 (水田)	日雨量	138.8 mm/日	80%	1/10年確率	- mm/hr	$138.8 \times 0.80 \times 10 / 86,400$	0.0129 m ³ /s/ha
	日排除	80.7 mm/日		1/2年確率	- mm/hr	$80.7 \times 0.80 \times 10 / 86,400$	0.0075 m ³ /s/ha
小排水路 (輪換田・畑)	4時間雨量	138.8 mm/日	40%	1/10年確率	56.66 mm/4hr	$56.66 \times 0.40 \times 10 / 14,400$	0.0157 m ³ /s/ha
	4時間排除	80.7 mm/日		1/2年確率	32.95 mm/4hr	$32.95 \times 0.40 \times 10 / 14,400$	0.0092 m ³ /s/ha
小排水路 (宅地等)	合理式	138.8 mm/日	40%	1/10年確率	28.33 mm/hr	$28.33 \times 0.40 \times 10 / 3,600$	0.0315 m ³ /s/ha
		80.7 mm/日		1/2年確率	16.47 mm/hr	$16.47 \times 0.40 \times 10 / 3,600$	0.0183 m ³ /s/ha

b) 河川洪水位の決定 該当なし

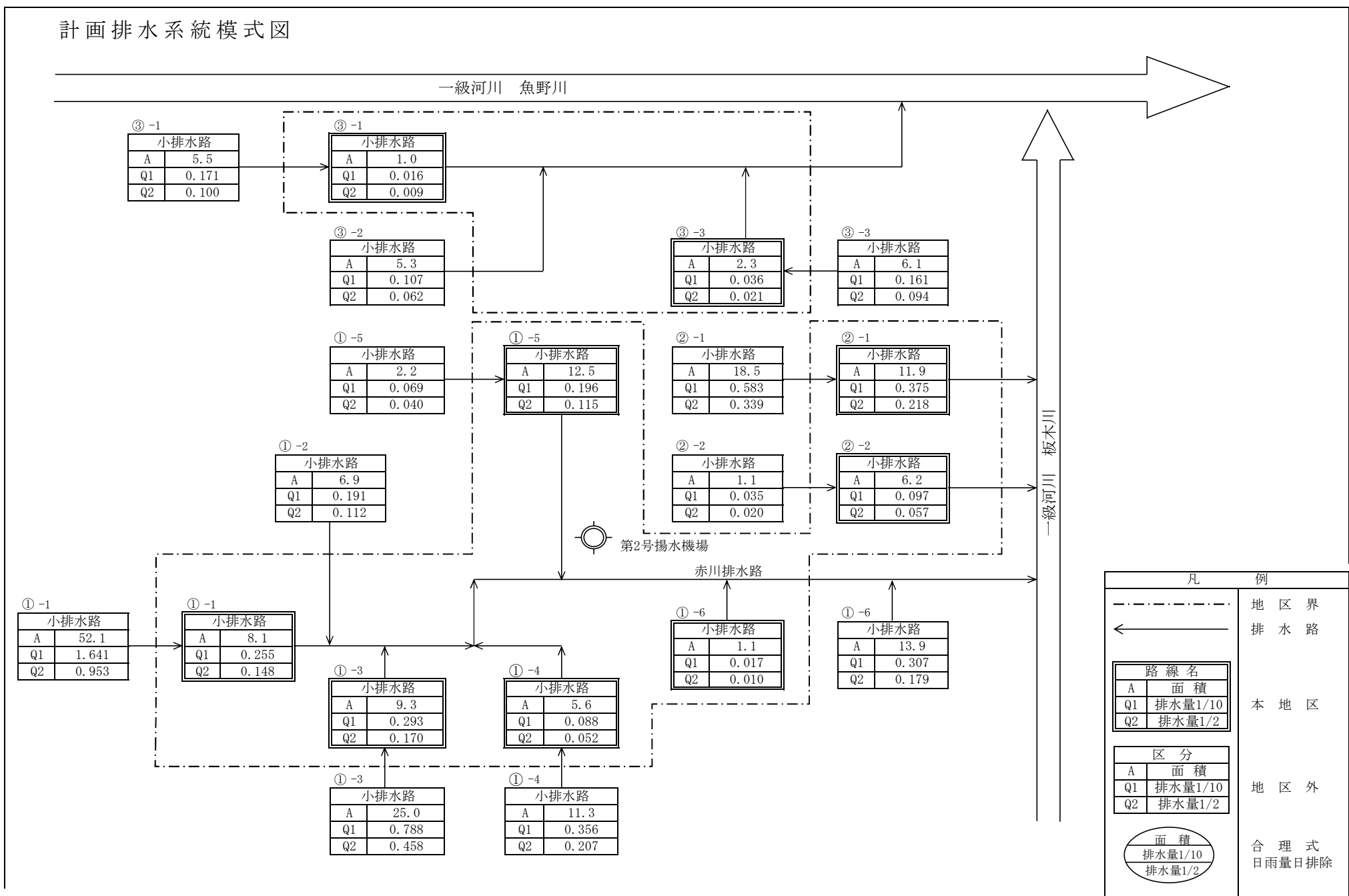
c) 計画洪水深の決定 該当なし

d) 地下排水計画に対する計画諸元の決定 該当なし

3. 計画排水系統(計画排水系統図参照)

計画排水系統模式図のとおり。

計画排水系統模式図



凡 例									
-----	地区界								
←	排水路								
<table border="1"> <tr><th colspan="2">路線名</th></tr> <tr><td>A</td><td>面積</td></tr> <tr><td>Q1</td><td>排水量1/10</td></tr> <tr><td>Q2</td><td>排水量1/2</td></tr> </table>		路線名		A	面積	Q1	排水量1/10	Q2	排水量1/2
路線名									
A	面積								
Q1	排水量1/10								
Q2	排水量1/2								
	本地区								
<table border="1"> <tr><th colspan="2">区分</th></tr> <tr><td>A</td><td>面積</td></tr> <tr><td>Q1</td><td>排水量1/10</td></tr> <tr><td>Q2</td><td>排水量1/2</td></tr> </table>		区分		A	面積	Q1	排水量1/10	Q2	排水量1/2
区分									
A	面積								
Q1	排水量1/10								
Q2	排水量1/2								
	地区外								
<table border="1"> <tr><th colspan="2">面積</th></tr> <tr><td>排水量1/10</td><td></td></tr> <tr><td>排水量1/2</td><td></td></tr> </table>	面積		排水量1/10		排水量1/2		合理式 日雨量日排除		
面積									
排水量1/10									
排水量1/2									

4. 計画排水量

(第11表-1)

排水系統名	受益面積 (ha)		流域面積 (km ²)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量 (m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備考
	事業名									平地		山地	平地		
	区画整理	計	山地	平地		自然排水	機械排水	山地	平地						
板木川	47.2	47.2	1.187	0.198	138.8	3.15	1.29~ 1.57	-	-	3.739	2.110	-	3.15	1.29~ 1.57	
魚野川	3.1	3.1	0.119	0.052	138.8	3.15	1.29~ 1.57	-	-	0.375	0.262	-	3.15	1.29~ 1.57	
計	50.3	50.3	1.306	0.250	-	-	-	-	-	4.114	2.372	-	-	-	

5. 排水対策

- (1) 排水水門 該当なし
- (2) 排水機 該当なし
- (3) 排水路

(第11表-2)

名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)		計画排水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		事業名					名称	計画 洪水量 (m ³ /s)	計画 洪水位 (m)	
		区画整理	計							
小排水路	0.364~0.001	50.3	50.3	1.637~0.009	5.9	排水フリューム				
計	0.364~0.001	50.3	50.3	1.637~0.009	5.9					

(4) その他 該当なし

6. 湛水検討 該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

項目 路線名	幅(有効) (m)	×	延長 (km)	構造	既設道路との関係	備考
支線道路	5.0 (4.0)	×	4.7	道路高 0.3m～ 敷砂利舗装 側法 1:1.0～	国道及び市道と接続 管理団体:魚沼市土地改良区	
支線道路	4.0 (3.0)	×	0.4	道路高 0.3m～ 敷砂利舗装 側法 1:1.0～	すれ違いを必要としない末端等 管理団体:魚沼市土地改良区	
計			5.1			

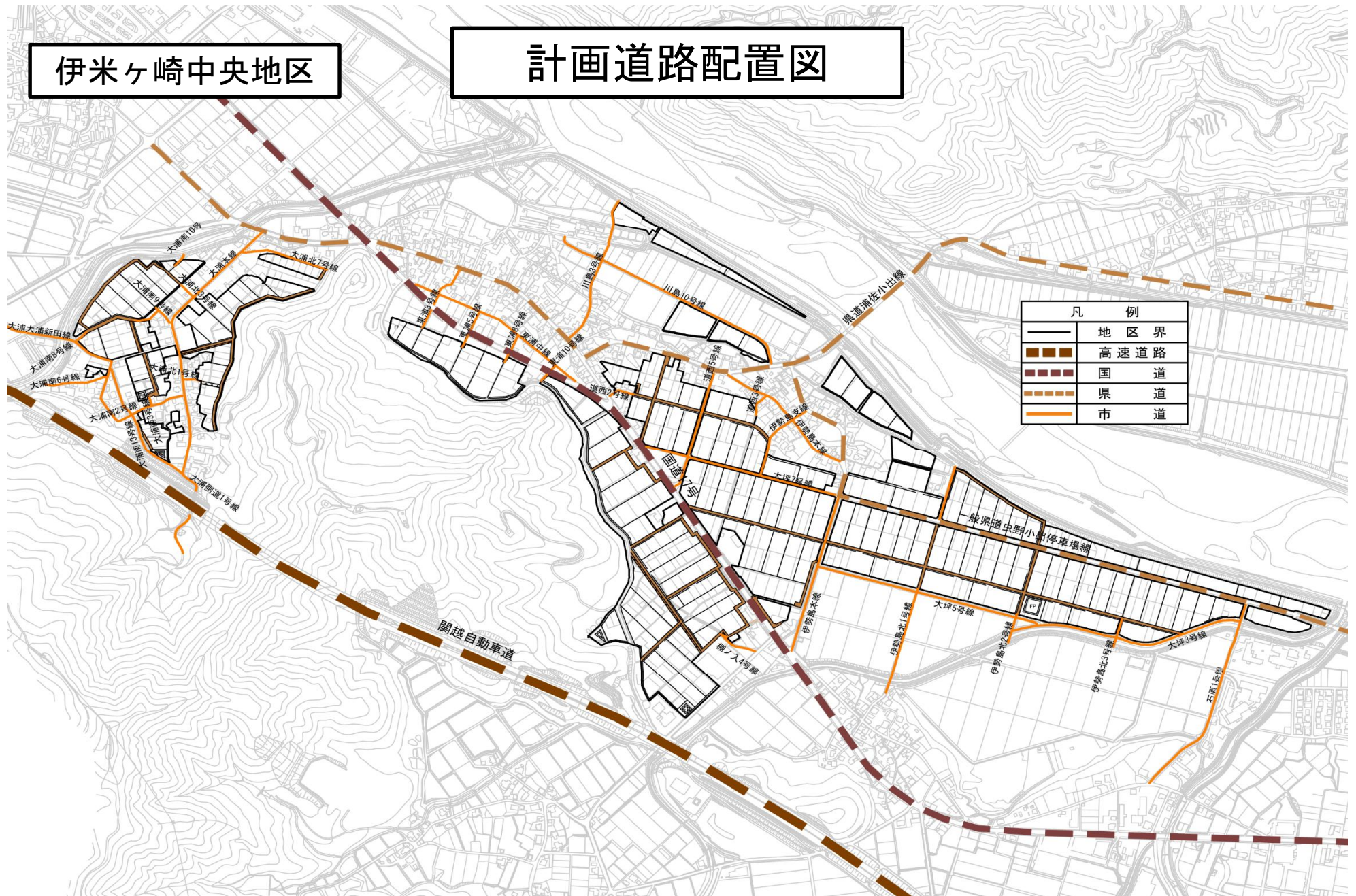
(2) 索道 該当なし

2. 路線配置図

別紙計画一般図参照

伊米ヶ崎中央地区

計画道路配置図



凡 例	
—	地区界
—	高速道路
—	国道
—	県道
—	市道

第6節 農用地造成計画 該当なし

第7節 洪水調整計画 該当なし

第8節 干拓計画 該当なし

第9節 農用地整備計画 該当なし

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
100×36	1.0～0.5	7.3	15	～1.1	
	0.5～0.3	32.6	65	～3.0	
	0.3～0.2	8.0	16	～3.0	
その他	0.2～	2.4	5	～2.4	
計		50.3	100	平均 0.2	

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考
50.3	要: 田差が大きく、作土層を確保するため。	15	75,450	

(3) 末端道水路配置図(別紙計画一般図参照)

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

土壌タイプD30、D34の区域については、地表水の排除だけでは乾田化が困難であるので、暗渠排水工を施工し、地耐力を高め、機械化に対応する基盤を整備することを目的とする。

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)		土 壌 統 (区) 名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ($\frac{l}{s}/ha$)	計画後の地 下水位 (m)	集水渠出口 以下の排水 方法	備 考
	事 業 名							
	区画整理	計						
D30	24.3	24.3	強グライ土壌-強粘土還元型	50	5.8	0.50	自然排水	
D34	26.0	26.0	強グライ土壌-壤土還元型	50	5.8	0.50	自然排水	
小計	50.3	50.3						

(2) 心土破碎 該当なし

3. 客土 該当なし

4. 農地保全 該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池 該当なし

2. 頭首工 該当なし

3. 揚水機

項目 名称	かんがい面積(ha)		揚水量 (m ³ /s)	揚程(m)		揚水機			原動機			備考
	事業名			全揚程	実揚程	形式	口径(mm)	台数(台)	形式	出力(kW)	台数(台)	
	区画整理	計										
第1号ポンプ	1.6	1.6	0.001	14.7	11.3	水中	50	1	電動	0.4	1	
第2号ポンプ	29.2	29.2	0.227	14.9	13.4	水中	250	2	電動	30	2	

項目 名称	かんがい面積(ha)		揚水量 (m ³ /s)	揚程(m)		揚水機			原動機			備考
	事業名			全揚程	実揚程	形式	口径(mm)	台数(台)	形式	出力(kW)	台数(台)	
	農業用排水施設	計										
井戸ポンプ	3.7	3.7	0.002	51.0	44.5	水中	40	1	電動	1.9	1	

4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積(ha)		通水量 (m ³ /s)	延長(km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネル その他	計				
	区画整理	計								
小用水路(管水路)	48.2	48.2	0.227~ 0.009	—	7.3	7.3	VU φ 125mm~350mm	—	—	
小用水路(開水路)	2.1	2.1	0.005~ 0.004	0.8	—	0.8	BF300	—	—	
計	50.3	50.3		0.8	7.3	8.1				

5. その他かんがい施設 該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門 該当なし

2. 排水機 該当なし

3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)		排水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要 構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネル その他	計				
	区画整理	計								
小排水路	50.3	50.3	1.637~0.009	5.9	—	5.9	排水フリューム H300×B300~H1000×B1200	1/50~ 1/2,000	—	
計	50.3	50.3		5.9	0.0	5.9				

4. その他排水施設 該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

区分	項目 路線名	幅(有効)×延長 (m) (km)	構造	付帯構造物			最急勾配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
区画整理	支線道路	5.0 × (4.0) 4.7	道路高0.3m～側法1:1.0～ 敷砂利舗装	取付道路	As舗装	31	10%未満	—	—	
	耕作道路	4.0 × (3.0) 0.4	道路高0.3m～側法1:1.0～ 敷砂利舗装	取付道路	As舗装	1	10%未満	—	—	
計		5.1				32				

(2) 道路主要構造物 該当なし

2. 索道 該当なし

第4節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 (m3)	面積(ha)	土量 (m3)	
伊米ヶ崎中央	50.3	100m×36m	-	50.3	75,450	
計	50.3		-	50.3	75,450	

(2) 末端用水路等 該当なし

(3) 末端排水路等 該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面積(ha)		集水渠				吸水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	事業名		勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
	区画 整理	計														
D30	24.3	24.3	1/1000	塩ビ管、 素焼土管	φ75～ 100	-	1/1000	素焼土 管	φ75	0.6	7.5	-	自然排水	排水フリューム	-	
D34	26.0	26.0	1/1000	塩ビ管、 素焼土管	φ75～ 100	-	1/1000	素焼土 管	φ75	0.6	10.0	-	自然排水	排水フリューム	-	
計	50.3	50.3														

(2) 心土破碎 該当なし

3. 客土 該当なし

4. 除礫 該当なし

5. 農地保全 該当なし

第 6 章 附帯工事計画

第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期

○ 工 期

着 手 令和2年度

完了予定 令和10年度

第8章 環境との調和への配慮

第1節 保全対象種の設定

平成30年6月に行われた『生き物確認調査』では、地区内水路及び周辺農地でドジョウ、アマガエル、ホウネンエビ、アキアカネ等の生息が確認されている。いずれも、ため池、水路、湿地等の水辺を生息・繁殖環境とする生き物である。

本地区では、工事により水路の連続性が断たれる恐れがあることから、絶滅の危惧されるドジョウを保全対象種に設定する。

第2節 整備する環境条件と実施するエリア

本地区は、魚沼市農村環境計画において『定住環境創造エリア』として「農業生産団地ゾーン」、「滞在型交流農業ゾーン」にゾーニングされており、ほ場と農村集落、山林が隣接している。農業農村整備事業では、区域内に生息する生き物の生息環境の保全や環境に配慮した事業実施に努める。

本地区では工事による水路の連続性が断たれ生き物が消失することを防ぐため水生生物の生息場所を創造・確保することとし保全対象種の確認されたエリア付近の排水路に環境配慮型水路を設置する。

第3節 配慮の計画内容

既存の水生生物が工事前と同様に繁殖・生息できる環境の創造・確保を目標とする。

環境指標種は、生き物調査の結果より、絶滅が危惧される「ドジョウ」に設定。これらの生物は水田や湿地、池、またその周辺の細流に多く生息しているが、河川の中流から下流域、用水路などの流れの緩やかな泥底にも生息している。また、平野部を中心に多く見られるが、圃場整備されていない水田が連続するようなところでは、かなり上流の山間部でも見られる。またドジョウは泥中の餌を食べるだけでなく、身を守るためによく泥に潜り込むなど、泥底と密接に結びついた生活をしていることから、排水路等の泥場の確保が必要となる。

そこで本地区においては、環境配慮型水路を排水路に設置することで生物の生息環境に与える影響を抑える。

- ・ 保全対策 ドジョウが確認された付近の排水路に環境配慮型水路を設置することで、ドジョウの餌場、避難場所等を確保すると共に生息・繁殖環境を保全する。

- ・ 維持管理体制 各施設とも農家組合と魚沼市土地改良区とで協議して管理するものとする。
事業完了までに本地区としての維持管理組織を立ち上げ管理を行う。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

関係農家を農用地の集団化を進め、大規模農業経営を図り、地域農業の発展に資するよう換地計画を樹立するとともに、担い手農家への農地集積の必要性の啓発に務め、利用権設定等の農地流動化を促進する。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積(ha)
全換地区	魚沼市大浦・伊勢島・虫野・原虫野	57.4

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
全換地区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記地積とする。 ただし、上記の日から3カ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合には、その申出のあった地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位:ha) (第25表-3)

用途 (取得 予定者)	非農用地区域外に換地する土地													非農用地区域に換地する土地								機能交換に係る土地				一般 国 公有 地	総 合 計		
	田	畑	山林・ 原野	その 他	通常事業施工地 域に含める土地 (令第1条の9()書 き)			計	本事業によっ て生ずる土地 改良施設用地			創設 農用地	合 計	特定用途 用地			異種 目換地	創設非農用地				合 計	国	県	市 町 村 他			合 計	
					土地 改良 施設	その 他	小 計		改 良 区	そ の 他	計			宅 地	そ の 他	計		農 業 経 営 合 理 化 施 設 用 地	生 活 上 ・ 経 営 上 必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用 施 設 用 地	宅 地 等								計
換地区名 前後	従前の土地	50.4	0.5	0.1	-	-	-	-	51.0	-	-	-	-	51.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4	6.4	-	57.4
	換地	50.3	-	-	-	-	-	-	50.3	0.8	-	0.8	-	51.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.3	6.3	-	57.4
合計	従前の土地	50.4	0.5	0.1	-	-	-	-	51.0	-	-	-	-	51.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4	6.4	-	57.4
	換地	50.3	-	-	-	-	-	-	50.3	0.8	-	0.8	-	51.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.3	6.3	-	57.4

3. 農用地集団化の方針

区分 換地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たりの目標団地数	区画畦畔の取り扱い
全換地区	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地目別集団化 畑を造成する場合は、集落別集団化された中でその団地を設け集団化を図る。 ○ 営農グループ別集団化 担い手農家等の育成及び確保を図るとともに、これらを団地化して農用地の面的集積を積極的に進める。 ○ 農用地利用集積促進区域別集団化 地区内の担い手農家等へ農用地の面的集積を積極的に図る区域の設定を図る。その際、当該区域に関する権利者の承諾を得るよう努める。 ○ 集落別集団化 各集落に、その属する権利者の集団化を図るものとし、各集落の団地の位置は、従前の各集落に属する権利者の農地に集まっていたところを中心とし、従前に比べ各集落の農地に著しい良否の差が生じないように定める。 	各人の従前の土地条件(区画形状・日照等)を基準に、意向調査等の結果を踏まえて各種グループ別集団化との調整を図りながら、地域の営農形態が向上するよう位置を選定して集団化を図る。	各農家の農地はできるだけ大規模に集団化を図るものとし、1戸当たりの団地数は、田については概ね2団地、畑については1団地を目標とする。	田については固定畦畔。畑を造成する場合は配分面積による境界設定。

4. 非農用地の換地方法

該当なし

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

標準地比準方式

2. 清算の方法

増価額比例地積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分予定年度	備 考
全換地区	令和3年度 ～ 令和5年度	令和10年度	令和10年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

換地区内の区画形状の変更に係る工事が全て終了し、確定測量が実施されたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項本文の規定にかかわらず、換地処分を行うことができるものとする。

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)
(単位:千円)

事業名等 区分	区画整理	農業用排水 施設整備	合計	備考
主要工事	2,012,427	17,573	2,030,000	内地方事務費 88,000 内工事雑費 25,000
附帯工事				

(単位:千円)

事業名等	区分	工事費				工事雑費				地方事務費			
		国	県	市町村	地元	国	県	市町村	地元	国	県	市町村	地元
区画整理	負担率	55.0 %	27.5 %	10.0 %	7.5 %	%	100.0 %	%	%	%	100.0 %	%	%
	負担金額	1,045,217	522,608	190,039	142,530		24,786				87,247		
農業用排水 施設整備	負担率	55.0 %	27.5 %	10.0 %	7.5 %	%	100.0 %	%	%	%	100.0 %	%	%
	負担金額	9,133	4,567	1,661	1,245		214				753		
合計	負担率	55.0 %	27.5 %	10.0 %	7.5 %	%	100.0 %	%	%	%	100.0 %	%	%
	負担金額	1,054,350	527,175	191,700	143,775	0	25,000	0	0	0	88,000	0	0

第11章 効 用

(第27表)

事業名等	区 分	項 目	年総効果(便益)額 (千円)	年増加農業所得額 (千円)	備 考
区画整理		作物生産効果	49,175	10,089	総費用(現在価値化) = 2,467,664 千円
		営農経費節減効果	65,451	69,994	総便益(現在価値化) = 2,848,778 千円
		維持管理費節減効果	△ 738	△ 363	
		耕作放棄防止効果	0	-	総費用総便益比 = $\frac{2,848,778}{2,467,664} = 1.15$
		農業労働環境改善効果 (農道)	2,437	-	
		農業労働環境改善効果 (用水)	4,336	-	
		景観・環境保全効果	2,014	-	増加所得償還率 = $\frac{10,744}{79,720} = 13.5\%$
		国産農産物安定供給効果	5,107	-	
		計	127,782	79,720	
農業用排水施設整備		作物生産効果	2,978	-	総費用(現在価値化) = 64,580 千円
		営農経費節減効果	△ 328	-	総便益(現在価値化) = 87,049 千円
		維持管理費節減効果	△ 49	△ 49	
		農業労働環境改善効果 (農道)	-	-	総費用総便益比 = $\frac{87,049}{64,580} = 1.34$
		農業労働環境改善効果 (用水)	318	-	
		景観・環境保全効果	-	-	
		国産農産物安定供給効果	465	-	総所得償還率 = $\frac{205}{1,757} = 11.7\%$
		計	3,384	△ 49	

第12章 関連する事業

該当なし

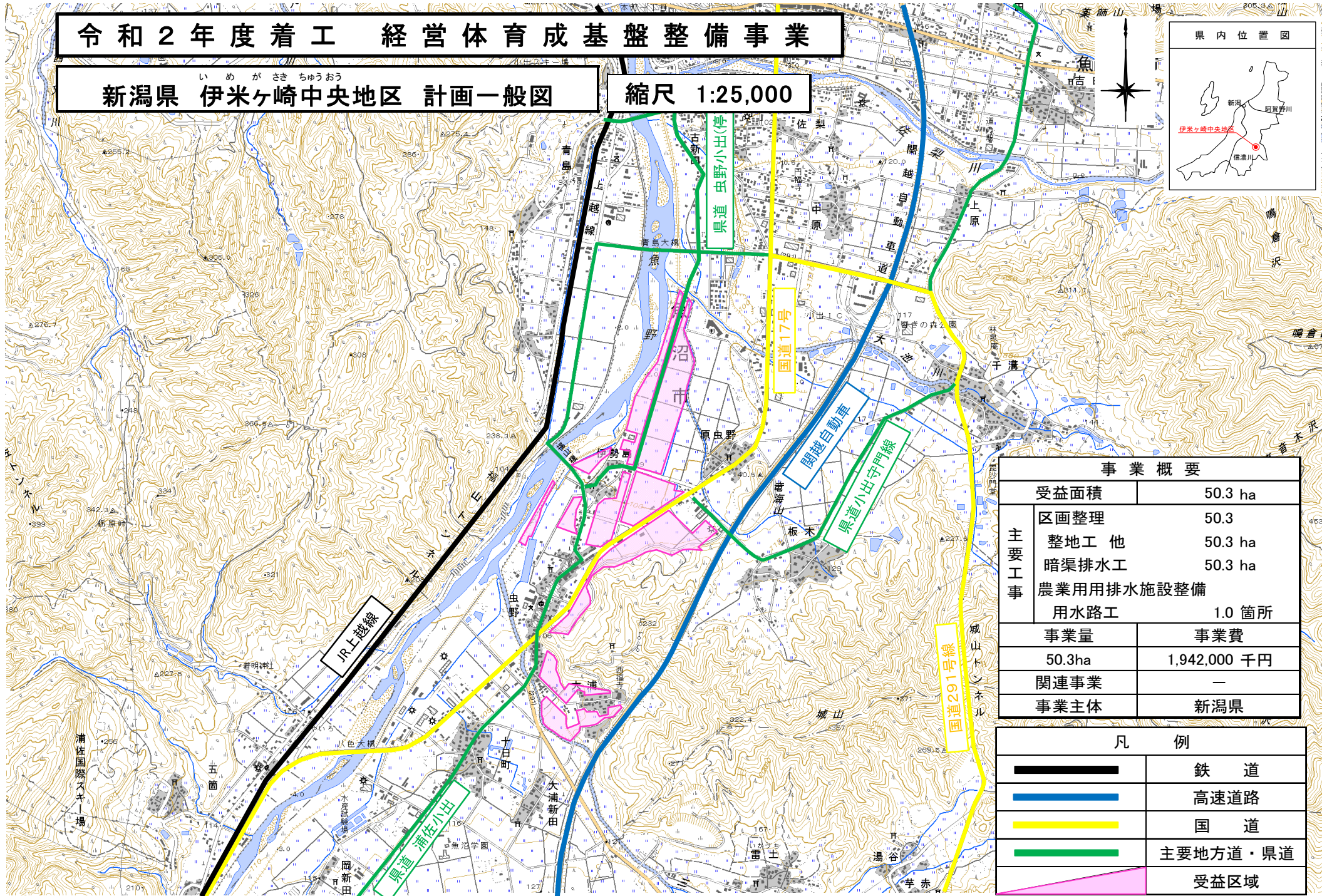
第13章 現況・計画平面図

計画一般図参照

令和2年度着工 経営体育成基盤整備事業

新潟県 伊米ヶ崎中央地区 計画一般図

縮尺 1:25,000



事業概要		
受益面積	50.3 ha	
主要工事	区画整理	50.3
	整地工 他	50.3 ha
	暗渠排水工	50.3 ha
	農業用排水施設整備	
用水路工	1.0 箇所	
事業量	事業費	
50.3ha	1,942,000 千円	
関連事業	—	
事業主体	新潟県	

凡例	
	鉄道
	高速道路
	国道
	主要地方道・県道
	受益区域